

フレキソ印刷論 担当；杉浦正弘客員教授

1、期間；随時（4ヶ月間、8回指導）

2、内容；

フレキソ印刷は成長期に入った印刷方式の一つです。フレキソ印刷の名称は、使用される版材が柔軟（フレキシブル）であることに由来するものですが、多くの印刷用途に卓越した品質と優れた効果をもたらしてくれます。現在では特にパッケージ業界で多用されており、拡大を続ける市場にも恵まれています。

今後、フレキソ印刷に関心興味を持たれた方々に、より理解を深めていただく為、基本概念、用語、関連諸技術、業界の慣行、作業の流れ（ワークフロー）、現在行われている適用対象などについて理論や手法に加えて実践的学習をします。

単元

- (1) フレキソ印刷と諸印刷方式の違い（開始月の1日、教科書1，2章）
- (2) フレキソ印刷のワークフロー（開始月の15日、教科書3章）
- (3) 階調と色再現、インキ調量システム（開始2ヶ月目の1日、教科書4，5章）
- (4) フレキソ印刷インキ、被印刷体（開始2ヶ月目の15日、教科書6，7章）
- (5) 刷版（開始3ヶ月目の1日、教科書8章）
- (6) 刷版の装着（開始3ヶ月目の15日、教科書9章）
- (7) 印刷機（開始4ヶ月目の1日、教科書10章）
- (8) 適用用途、イン・ライン加工、現状と将来（開始4ヶ月目の15日、教科書11，12，13章）

3、教科書 『フレキソ印刷』J・ページ・クランチ署 GATF 印刷之世界社(2002)

サービスサイエンス 担当；若生彦治客員教授

1、期間；随時（4ヶ月間、8回指導）

2、内容；

サービス産業の総生産額は先進国においてGDPの7割を占め、上昇しています。サービスサイエンスは、IBMが提唱している名称であり、未知の分野です。IBMは経営の重心をハードの生産販売から社会・地球環境問題の解決やサービス産業が必要とするソフト開発へ転換しています。サービス提供者にとっての最大の経営課題は、業務が無形であることより、顧客満足度の測定や目標設定、人材育成の難しさにあります。印刷業は生き残り策としてサービス業務の取り込みを模索しています。本科目は、製造業(印刷業)とサービス業の業務内容の相違点、ICT業界におけるサービス提供例および課題を学習します。

単元

- (1) サービスサイエンス(開始月の1日、教科書序論)
- (2) 製品とサービス(開始月の15日、教科書第1章)
- (3) サービス戦略(開始2ヶ月目の3日、教科書第2章)

- (4) イノベーション戦略(開始2ヶ月目の17日, 教科書第3章)
- (5) ITサービス企業(開始3ヶ月目の1日, 教科書第4章)
- (6) 顧客起点(開始3ヶ月目の15日, 教科書第5, 6章)
- (7) マネジメント(開始4ヶ月目の5日, 教科書第7章)
- (8) 消費社会(開始4ヶ月目の15日, 教科書第8章)

3、教科書 原田保(2008)『日本企業のサービス戦略』発行所; 中央経済社

申し込み; kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp まで

受講料; 1 学科目 (教材込) 2 万円 (振り込み先; 三井住友銀行清瀬支店 (普) 4523764、
コクサイインサツダイガクコウイーシ)

(賛助会員は受講料が無料です。)